

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

大学広報誌 エピストゥラ

Epistula

spring
2017



特集

美術・音楽・国際・情コミ

全4学科が行った1年間の活動をお知らせします！

【表紙モデル】専攻科造形専攻プロダクトデザインコース2年
石濱祥子さん、藤菜摘さん、佐藤寿喜さん、佐々木史織さん、中谷真理さん

vol. 46

大分合同新聞社の新印刷工場の 見学施設の壁画を本学学生が制作

大分合同新聞社が印刷工場を大分県東国東郡に建設するにあたり、子供向け学習プログラムが行われる施設の壁面制作依頼があり、本学美術科デザイン専攻メディアデザインの森谷美乃里さん、金子千子さん、上野真菜さんが、手描きのイラストレーションを元にグラフィックアートを完成させました。「依頼主の要望に応えながらの制作は大変でしたが、続行錯誤を繰り返した結果、納得のいく作品を制作することができ、仕事に対するやりがいを感じました。」と語りました。



「JAGDA学生グランプリ2016」 優秀賞受賞

日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)が、日本のグラフィックデザイン界における優れた新しい才能の発見と輩出を目的に実施しているボスターコンペティションにおいて、専攻科造形専攻ビジュアルデザインコース1年の三野利寛さんの作品(friend/couple/family)が優秀賞に、同じく専攻科1年生の日神瑞菜さんと新木菜月さんの作品が入賞しました。



た。今年、今年作品テーマの「SNS」を、学生たちがさまざまな視点、角度から捉え、ボスターに自由に表現し、受賞しました。

Cover of Epistula



広報誌エピスタラは、各学科において活躍している学生が組織を創って制作。vol.4号では、第5回卒業生・修了生制作の会報にて、専攻科造形専攻プログラムの卒業生2名、石塚真子さん、森 栄祐さん、佐藤寿希さん、佐々木 菜月さん、中谷真穂さんに委嘱してもらいました。

デザインパテントコンテスト 意見登録出願を経て登録証届く

文部科学省が特許などを通じて「平成27年度デザインパテントコンテスト」で入選し、今年5月に意見登録出願を行った新名がすみさん(専攻科・造形専攻1年)のデザインが特許庁の審査を経て意見登録され、意見簿の登録証が届きました。



意見証とは、物のデザイン(意見)を独断的に利用できる権利です。今後は、意見簿をビジネスの現場で活用することができると考えられています。

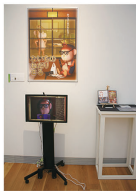
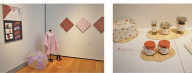
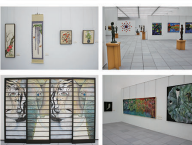
「地域ふれあいアート講座」を開催

本学学生と児童が美術を通して交流を図る「地域ふれあいアート講座」を、10月19日(日)に九瀬町立野上小学校で、美術科デザイン専攻1年生17名が参加し「のがみ自慢かみ」作りを行いました。学生たちは、にじみ絵の技法を紹介したるたの絵の制作をサポートしました。



「おおいた大茶会」のロゴマークに 本学学生の作品が採用

2016年に大分県で開かれる「第33回国民文化祭」と「第18回 全国障害者芸術・文化祭」の大会テーマ「おおいた大茶会」のロゴマークに、本学専攻科造形専攻ビジュアルデザインコース1年の村田美矢さんが制作したロゴマークが採用されました。村田さんは「勢いで案の下に、さまざまな人が集まってほしいという願いを込め、制作しました。」と解説。広瀬清典知事と共にロゴマークを披露し、表彰されました。



地域巡回演奏会／パーカッション
アウトリーチコンサート

佐伯市の鶴岡小学校と津久見市の津久見小学校で地域交流委員会を、九重町の夏新田小学校ではパーカッションアウトリーチコンサートを開催しました。小学生や地域の方々に、音楽の楽しさを伝えるとともに、声楽・ピアノ・管弦楽の学生たちの日頃の成果を披露しました。



著名な音楽家や東京藝大名誉教授
による公開レッスンを開催

世界的に活躍する音楽家の生徒美枝子吉貝教授(声楽)や小林遼大客員教授(声楽)、東京藝術大学名誉教授の藤山緑子講師(声楽)や同じく平島隆治講師(ピアノ)による公開レッスンをいたしました。



新人演奏会

大学推薦を受けた学生たちが、次の新人演舞会に出演が決定

【読売新人演奏会】徳久 実、小淵 真実
【アルゲリッチ音楽塾】船本 利剛、岸本 晋弥
【ピアノ調律師協会主催 新人演奏会】志田口 七海



Cover of Epistula

管弦打に焦点をあてた第52回定期演奏会に出演した専攻科音楽専攻管弦打コースのみなさん。特集では、定期演奏会に向けた意気込みや稽古どころを語りました。

演奏活動

打楽器専攻学生による
「パーカッショングループミレニアム18thコンサート」

さまざまな打楽器による演奏やボディパーカッションを披露しました。中には、観客が試みえるような打楽器もあり、船倉利之教授による打楽器の説明や当日の解説も行われ、会場は大いに盛り上がりました。



松倉利之教授 退職記念コンサート
「M♡FES」

この春、音楽科・松倉利之教授が本学を退職されることを記念し、松倉教授と松倉門下生有志による「パーカッションコンサート」(MOFES ~ a Music Festival of Percussion to Thank for Mr Matsukura ~)を開催しました。パーカッションと松倉利之教授によるもの打楽器(4種類、6個)、マリンバ、ティンパニの3人編成で、門下生とのデュオやアンサンブルを披露しました。アンコールでは、門下生が親しながら演奏



作曲コース学生による作品展

音楽科と専攻科音楽専攻の作曲コースの学生、卒業生、修了生による日頃の研鑽の成果を発表する「作曲コース作品展」を開催し、各員の作品を本人や音楽科の他のコース（声楽、ピアノ・管弦法）の在校生や卒業生によって発表しました。また、作曲コースの河野敬敏助教授の作品発表も行われ、観客から惜しみない拍手が送られました。



理論Ⅱ—卒業研究発表会

理論コースで2年間学んだ成果を発表する「卒業研究発表会」を行いました。卒業研究は、単位取得を含んでいます。

＜卒業研究＞
田中真優子／音楽療法研究 高齢者
対象のセッションに参加して
村上 真／ローベルト・シューマン
作曲「子供の情景」Op.15より第10
曲「Fast zu ernst」、第12曲「Kind
im Einschlafen」の和声研究



音樂科

音楽科コンサートシリーズ No.85 ～ 90 と卒業・修了演奏会



卒堂演奏会・修了演奏会出演者

lichikp総合文化センター lichikp高の昇カール 17:30開演

3月21日(火)
《高雲演義會》

◆声優コース	◆俳優打コース
井上 歩実	加藤みのり
杉本 久奈	武蔵 りき
中園 南海	古田奈々子
松本 利剛	吉村 真央

◆ピアノコース
石川 純郎
徳久 美
中島 悦香

3月22日(水)
(修了温泉会)

◆声優コース	◆演技科コース
原 紗雪	小川夏優美
後藤 舞海	小美 真実
堀本 光	栗田かおり
朝野 昌衣	田中 佳穂

◆ピアノコース
岸本 智恵
藤田 祥
星子 真々



外部講師による魅力ある講義を実施

国際総合学科では、さまざまな分野で活躍するプロフェッショナルによる講義を実施しています。

●全日本空輸株式会社 客室乗務員 川副美理子氏

「国際企業で働く」と題し、全日本空輸株式会社(以下ANA) 客室乗務員・客室乗務員の11副美理子氏を講師に迎え、客室乗務員の業務、国際企業ANAについてご講演いただきました。また、仕事をすると大抵のものは「物事を思いやる想像力と感性」というお話があり、「学生の皆さんは、自由にできる時間があるうちに様々な場所を訪れて、たくさんの人と出会い、自身の感性を磨いてほしい」とメッセージを遺されました。



●大分県国際交流員 ミリamu・スターリング氏

イギリス・ロンドン出身のスターリング氏は「イギリス人の眼から見た大分県」を題して、イギリスにおいて日本とどのような交流があるのか、イギリス人の観光客がくるとしたらどのような所か、大分県の魅力を伝えることとしたいのか、また観光PRの仕方など日本人が考える視点とは異なった話を聞くことができました。最後に「日本人にとって普通なことは、イギリス人にとって魅力的である」と語り、学生にとって目から鱗が落ちる講義となりました。



ヨーロッパ講座



ヨーロッパ各国の歴史や文化、現在の姿、本学の講師や特別ゲストのトークと映像や音楽で紹介する「ヨーロッパ講座」。今年度は、2回開催しました。4月は北欧の国フィンランドを取り上げ、音楽科の小川伊作教授がフィンランドと音楽の関係を語っていました。フィンランド航空の福田雄之さんによる「暮らしように旅するフィンランド・ムーミンに似ていること!!」と題し話していただきました。11月はボルトガリを取り上げ、国際総合学科の専攻洋楽教授がボルトガルと大分県との交流を語りました。フィンランドと大分県の連携と近代化をテーマに語りました。

留学生とのお別れ会

中国・江蘇大学からの留学生、謝 麗麗(シャカカ)さん、周 伊麗(ジョウイカ)さん、月 希(ジョウ ヨウ)さん、張 嬌(チャウカウ)さん、余 金(ヨミツキ)さん、余 麗(ヨミカ)さん、余 麗(ヨミカ)さんの6名の留学生1年次生が来日しました。外国へ来日前に、国際総合学科ではお別れ会を開催。留学生たちは大分中で1年間の生活について1年次生と発表しました。大分県は環境が良く住みやすいと思ったと日本語で話しました。お別れ会には、この春休みに江蘇大学へ留学する行く学生も参加してあり、現地での再会を誓いました。最後に再会(よる)と挨拶し、中国の旗を渡しました。



受賞しました

●中国語スピーチコンテストで受賞

大分県日中友好協会主催の「第1回中国語スピーチコンテスト」が開催され、国際総合学科1年次生 岡本さんが最優秀賞を受賞しました。



●大学生観光まちづくりコンテスト2018

大分ステージで受賞

株式会社、JTB総合研究所、株式会社三郷総合研究所が運営し、大分県特別協力として支援している事業「大学生観光まちづくりコンテスト(大分ステージ)」の本選に、国際総合学科吉野ゼミ所属の学生4名が出席。観客ながら受賞には負けません。しかし、本選で行われたポスターセッションに発表者2名とアトラクティブに参加した3名が参加。発表、優秀賞を受賞しました。出席した学生たちは、「大会のことを覚えていない機会もあり、いい思い出になりました。」と笑顔で話しました。



●留学生 周伊麗さんが日本語スピーチコンテストで受賞

「OITA学生援護フェスティバル」による日本語スピーチコンテストにおいて、周伊麗(しゅういり)さんが第2位(日本人)の成績を収め優秀賞を受賞しました。周さんは、中国の江蘇大学(江蘇)からの留学生です。スピーチでは、「日本人の心をつなぐ」というテーマで、「心をつなぐ」に対する認識、来日前と来日後の心の変化などを、数々の体験をもとに発表しました。そして、そこから中国が抱えている環境問題に対する一般の人々の意識改革の重要性を訴え、見事に受賞しました。



Cover of Epistula



来日したばかりの留学生たちが手紙を書きました。「大分県をよく知っています」と書かれたメッセージと共に、1年間の留学生生活と将来への夢を込めて書かれています。



釜山外大に続々と編入学しています

本学は、2014年10月に韓国・釜山外大(釜山国際大学)と国際交流協定を締結し、「編入学受け入れに関する覚書」を交わしました。そして、2015年3月卒業の釜山外大の2015年9月から、2016年3月卒業の釜山外大の2016年9月から編入学が開始されました。今年新たに3名が決定しました。



釜山外大へ留学中の卒業生が本学を訪問

国際総合学科の卒業生(2016年3月卒業)で、2016年9月から釜山外大(釜山国際大学)に留学中の釜山外大の2016年3月卒業の釜山外大の2016年9月から編入学が開始されました。今年新たに3名が決定しました。



本学さんは、釜山外大のビジネス日本語学部(日本・アジアの経済について学んでいます。当学部は授課科目が少なく、韓国語と英語を学ぶことができます。今までは韓国語と英語を学ぶことが多かったのですが、ここからは韓国語と英語を学ぶことが多くなりました。また、海外生活で外国の人と関わることを通じて、多文化理解の大切さを学びました。留学を通して様々な文化や生活の姿を知ることができ、これからは積極的に交流していくつもりです。海外留学の経験を活かし、日本と韓国の関係強化に貢献できるような取り組みをしたいと思います。」と話してくれました。

「今後は料理士の資格も活かして、知的財産の専門家として普及啓発活動など大分県に地域貢献していきたいです。」と語っています。今後も本学では野田講師を中心に、知的財産を活かした地域活性化に力を入れていきます。

す。ポートフォリオに自分の活動を記録していくことで、従来の成績だけでは測れない、個人の能力を引き出すことができます。1年次には2回発表会を行います。発表会の題は、「自己PR能力の向上」と「資力能力の向上」です。自分のことをきちんと説明し、相手とのコミュニケーションを適切にとる能力は、大切な社会人力のひとつで、就職・進学といった活動にも必要な能力です。この発表会で、経験が、社会人にも役立ちます。

コミュニケーション学科の学生たちと一緒に授業やゼミを受けたり、日本語教室に参加したり、三竹竹南や葛城などの日本文化を体験したりしました。また、サービスラーニングの活動を共に行うなど交流をしました。

生徒TV(学生が取材・撮影・編集するコミュニティTV)のみなさんに登場していただきました。別荘での抽籤直しを取材・撮影しているところにおじゃまし撮影させていただきました。

2年生が4月より各自またはグループで1年間にわたり取り組んできた研究について発表を行う「平成28年度 卒業研究発表会」を、2月7日(水)・8日(木)に開催しました。発表は一人10分間、13名264件の研究発表が行われ、発表のほかに質疑応答でのやりとりなど、プレゼンテーション力も問われる発表会となりました。



- ・(社会学)地域コミュニティのあり方／カーニバルや祭典のあり方／よき生活のあり方
- ・(社会学)物語づくり／リテラシーによる行動規範／著名人のリテラシーのあり方
- ・(映像)メディア／4K動画の活用方法
- ・(社会学)会議のあり方／SNSの活用方法／一語一詞の大切さ／政治的発言のあり方
- ・(政治学)リテラシー／若年層のネット・リテラシーと情報モラル
- ・(情報学)デジタル化と大衆の文化／文化のデジタル化／市民の自立
- ・(発達学)児童の遊びの遊びによるロールの習得
- ・(社会学)コミュニティのあり方／リテラシー／リテラシーのあり方
- ・(認知学)認知のあり方／認知のあり方
- ・(社会学)情報化社会の教育
- ・(社会学)人海都市のあり方とコミュニティ・リテラシー
- ・(情報学)リテラシーの活用

心理学者としての授業の一環として、高崎山でニホンザルの行動観察実習を行いました。学生たちは、母ザルと子ザルの親子関係や、毛づくろいをする親睦関係のサルの、群れの中の順位など、ニホンザルと様々なサルを選んで観察、ビデオ撮影を行いました。サルにしか見られない「行動やサル同士の関係性、人間との共通点も見ることができました。実験後の授業では、撮影したビデオを見て、行動パターンを行い、さらに詳しく二ホンザルの行動特徴を調べたり、人間との共通性や差異を解説したり。



情報コミュニケーション学科

「アーツ・アンド・クラフツ」は、普通運動活動を行ったのではなく、運動的要素が三つある活動を考える（運動を身体・伝えた・心）という考えを一通りアーツとして、体験をスモールに定めた動力育成を行っています。

今、社会で「アーツ・アンド・クラフツ」を行った活動は、学生ならぬ市民の視点で決め、中心となる活動として学生が主体的な意思決定を表現する動力プログラムを、一月三日と一月五日の日に付して実施されています。

また、外側の方向性による活動が与えられました。

学習・研究の成果を公開

閉

- あなたへメリークリスマス
- 田ノ口活性化プロジェクト
- 津久見市人権フェスタ
- 赤い羽根希望プロジェクト

芸短大 キャンパス整備事業が進んでいます



本学のキャンパス整備事業は、平成32年度完了をめざして本格的に始めました。平成28年は、仮校舎が図書館の横に建築され、芸術棟がまず引っ越ししました。平成29年には、芸術棟の増築・改修工事が行われ、新たに「芸術デザイン棟」として完成予定です。

また、図書館や音楽ホール・厚生棟の新築工事も始まります。この整備事業を含め、これから地域とともに歩む大学として教育・研究・地域貢献活動の一層の充実にも努め、魅力ある大学づくりに取り組んでまいります。

今後のスケジュール

平成29年10月	芸術デザイン棟完成
平成30年9月	図書館完成
平成31年2月	音楽ホール・厚生棟完成
平成32年	全棟改修工事 キャンパス整備完了

芸短オープンカレッジと公開授業 受講者を募集します



2017年度前期の「芸短オープンカレッジ」と「公開授業」の受講者を募集します。芸短オープンカレッジは、趣味の講座やビジネススキルアップを目指す講座など、芸術系と人文系のある本学ならではの個性的な講座をご用意しています。公開授業は、大学の講義を皆様に公開して、本学学生と机を並べて学んでいただく制度です。詳細は、本学HP・折り込みチラシをご覧ください。

お問合せは、芸短オープンカレッジ・公開授業担当まで(097-545-0542)。

恩師からのお別れの言葉

今年度で退職される先生にお言葉をいただきました。



◆音楽科

教授・松倉 利之

大分に赴任して10年、殆ど毎日のように学生の皆さんと顔を合わせ、短大生は2年、専攻科に進んだ場合は4年という時間をかけて専門実技を指導しました。この事は私にとって掛け替えの無い財産になっています。若い世代(殆ど孫！)を相手に1対1でのレッスンは正直しんどいのですが、学生がどんどん変わっていくのを見ると少しは役に立っているのかなと思います。最近では、学生たちに対してのレッスンを自分自身に向けてやると、この龄でもさらに上達するのでは？という錯覚に陥ります。今後はリハビリを兼ねて、自身をもう一度鍛えようと思えます。

◆情報コミュニケーション学科 准教授・関口 洋美

早いもので、芸短大に赴任してから11年という歳月が経ちました。この11年の間に、線路が高架化され、道路が拡張・整備され、大分駅が立派になり、大分市内は大きく生まれ変わりました。私が在籍した11年ではまさに変化していく過程でした。大分の街だけでなく、芸短大もいろいろと変化してきました。芸短大が迎える大きな変化である「新しいキャンパス」を見届けることはできませんでしたが、これから発展という変化を続けていかれることを祈念いたします。これまでありがとうございました。



情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学
(大学ホームページ)
<http://www.oita-geitankai.ac.jp/>

大分県立
芸術文化
短期大学

大分県立芸術文化短期大学

OITA
GEITANKAI
VISUAL
DESIGN

芸術科デジタルデザインコース

芸術科メディアデザインコース

Oita Geitankai
PD

美術科専攻科プロダクト
デザインコース

情報コミュニケーション学科

国際総合学科

音楽科

芸術科専攻科プロダクト
デザインコース

音楽科

芸術科専攻科プロダクト
デザインコース

芸短大 検索